

投稿規程

(2021年7月)

1. 発行趣旨について

臨床理学療法研究会の機関誌である本誌は、病院などの医療機関における理学療法に関する研究の促進を図り、その知識・技術の発展に寄与することを発行趣旨とします。この趣旨に沿った論文を投稿してください。

2. 投稿資格について

投稿原稿の筆頭著者は、原則として臨床理学療法研究会会員とします。但し、臨床理学療法研究会役員の決定により、会員外の執筆者に投稿を依頼することもあります。

3. 原稿の種類について

原稿の種類は、特集、原著論文、短報、症例報告、総説、講座、その他とします。投稿時に該当の原稿種類を記載ください。ただし、査読の結果、変更になることがあります。

特 集：原則として研究会事務局が依頼する原稿になります。

原著論文：独創性、新規性があり、新知見が高く評価できる論文とします。

短 報：独創性があり、速やかな発表を期待する報告とします。

症例報告：症例の臨床的問題や治療結果について科学的に研究を行い、考察を行った論文とします。

総説・講座：特定の分野や主題について、関連文献、資料に基づいて総括的に論評したものです。

なお、臨床研究はヘルシンキ宣言に、動物実験は医学生物学的研究に関する国際指針の勧告の趣旨にそったものとします。

4. 研究倫理について

臨床研究の投稿の場合には、所属機関・施設の倫理委員会の承認やヘルシンキ宣言に則り実施した上で、その旨を本文内に必ず記載してください。また動物実験の投稿の場合には、医学生物学的研究に関する国際指針の勧告の趣旨に沿って行い、その旨を本文内に必ず記載してください。

5. 原稿の分量および形式について

図・写真・表については、各1枚を原稿用紙1枚(400字)に換算します。但し、小さなサイズで掲載が可能な図・写真・表についてはこの限りではありません。

原稿の表紙には、表題(必要に応じて副題)、著者名(和,ローマ字)、施設名、施設住所(郵便番号を含む)を必ず記載してください。また、共同著者に関しても、著者名(和,ローマ字)および施設名を必ず記載してください。

さらには、サマリー(和文300字以内)、キーワード(3語)をあわせて記載してください。ただし、総説や講座においては不要とします。具体的には、以下に記す原稿の種類別の記載にしたがって執筆してください。

特 集：原則として研究会事務局および会誌編集担当が別途定めます。

原著論文：字数は8,000字以上、12,000字以内を原則とします。また、形式は原則として、研究の目的、方法、結果、考察、結論として下さい。

短 報：字数は4,000字以上8,000字以内を原則とします。必ずしも論文の形式にまとまっていなくても結構です。

症例報告：字数は12,000字以内を原則とします。

総説・講座、その他：原則として研究会事務局および会誌編集担当が別途定めます。

6. 原稿の内容について

原稿の作成にはWord等の文書作成ソフトウェアを使用し、文章は楷書、口語体、現代仮名使いとします。フォントは、MS明朝体、標準、10.5ポイントを原則とします。英数字は「日本語と同じフォント」とし、すべて半角で記載してください（図表内の英数字も同様）。数字は算用数字、単位は国際単位系（SI単位）としてください（例：長さm、質量kg、時間s、温度℃、周波数Hz）。本文中の句読点は、日本語の句点は全角「、」読点「。」を使用してください。また、略語は本文の最初に出てくるところで、カッコ内にフルスペルで記載してください。年号は西暦を使用し、外国語（地名、人名、その他）は、原則として原語もしくはカタカナ（最初は原綴りを併記）を使用してください。

引用文献は、本文末尾に一括して引用順に記載してください。また本文中の引用箇所右肩に○○¹⁾、○○^{1,3)}、○○¹⁻³⁾のように肩番号を付してください。なお雑誌名の省略は、和文の場合は「日本医学雑誌略名表」に、欧文は「Index Medicus」に原則として従ってください。さらには引用文献の著者氏名3名以上の場合には最初の2名を書き、他もしくはet al.と略してください。

文献の記載方法は、雑誌の場合、著者名：表題. 雑誌名 巻(号)：初項-終項, 発行年次. とし、単行本の場合、著者名：表題. 書名(編者氏名), 発行社名, 発行地, 発行年次, 項. とします。以下に記す具体例を参考にして、正確に記載してください。

- 1) 小室 透, 間瀬教史・他：片麻痺の運動時皮膚温変化. 理学療法学 18(1)：5-11, 1991.
- 2) Hulme JB, Bach BW, et al：Communication between physicians and physical therapists. Phys Ther 68(1)：26-31, 1988.
- 3) 千野直一：臨床筋電図・電気診断学入門. 医学書院, 東京, 1977, pp102-104.
- 4) Desmedt JE, Godaux E：Progress in Clinical Neurophysiology. (ed. by Desmedt JE), Vol. 8, Karger, Basel, 1980, pp215-242.
- 5) Vojta V：乳児の脳性運動障害 原著第4版. 富 雅男, 深瀬 宏(訳), 医歯薬出版, 東京, 1987, pp182-187.
- 6) 金久博昭, 福永哲夫：身長との関連でみた体組織. 日本人の体肢組成. 朝倉書店, 東京, 1990, pp106-108.
- 7) 齋藤 修, 赤柴恒人：酸素療法, プライマリ・ケア医のための呼吸器疾患アプローチ. 高野義久, 吉田 聡(編), 南江堂, 東京, 2002, pp123-131.
- 8) 野島元雄：進行性筋ジストロフィー症, 各種神経筋疾患. 「リハビリテーション医学全書 20」上田 敏(編), 医歯薬出版, 1975, pp160-269.
- 9) 寺島俊雄 (2001). 基礎解剖学 骨格系.
< <http://www.lib.kobe-u.ac.jp/products/anatomy/kiso/chap3.pdf> > [2005, August 18].

7. 図・表について

原則として、すべての図表にはタイトルをつけ、タイトル名および必要に応じて説明文を本文文末に列記してください。

図表等をデジタルデータで提出する場合には、必ず鮮明な画像ファイル(JPEG(ジェイペグ), BMP(ビットマップ), 300dpi以上)として別途提出してください(MS Power PointやWordなどに挿入しての画像提出やExcelデータのままの提出は不可)。

写真の場合には、大きさが手札(90mm×130mm)以上で、解像度350dpi以上の鮮明なものとしてください。図表は1枚ずつ別葉とし、それぞれ一連番号を記入のうえ、本文文末に別紙としてまとめてください。なお、図表や写真はなるべく原寸大で、明瞭でそのまま印刷できるものをご用意ください。

なお、冊子体は原則としてモノクロ印刷とすることをご了承ください。

8. 原稿の査読について

本誌における査読制度は、会員の学術活動発展を目指した教育的な観点に重点をおくことを基本としています。具体的には、構成、客観性、有用性、新規性などの観点から実施します。なお原稿を受理した時点で、投稿規程に示す会誌発行趣旨に沿わない原稿、あるいは記載方法など規程に著しく抵触する原稿については、査読を行わず投稿者に返却します。

査読審査は、複数の査読者により実施します（原則として2回まで）。査読結果は、採録、条件付採録、不採録とします。ただし、研究会事務局が依頼する原稿等に関してはこの限りではありません。

9. 原稿の採択について

最終的な原稿の採択については、当研究会役員で決定いたします。査読の結果、投稿規定や編集方法に従って、原稿の一部変更をお願いすることがあります。また、会誌編集担当の責任において、多少字句の訂正をすることがあります。なお、掲載順序、印刷方法、体裁は、会誌編集担当により決定いたします。

10. 校正について

著者校正は、原則として1回としますが、文章および図表の変更は原則として認めません。校正は赤ペンでお願いします。なお、記載後原稿は、原則として返却しません。

11. その他

本誌に掲載された論文の著作権は、臨床理学療法研究会に属することとします。また、本誌に掲載された原稿はオンライン公開されます。なお、掲載料は無料です。

本誌は会員に1部配布いたします。なお筆頭者には、掲載誌1部と別刷20部（筆頭筆者あて）を差上げます。ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

[原稿送付先・連絡先]

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967

びわこリハビリテーション専門職大学

リハビリテーション学部 理学療法学科内

臨床理学療法研究会 事務局

E-mail scpt@h8.dion.ne.jp